

K.G. WEEKLY NEWS

■発行日 2015.5.11 No.811 ■発行 関西学院広報室 ■西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL 0798-54-6017

神戸三田キャンパス開設20周年記念 アジア開発銀行総裁・中尾武彦氏 講演会

神戸三田キャンパスの開設20周年を記念し、アジア開発銀行総裁の中尾武彦氏を招いた講演会を開催する。

中尾氏は1978年大蔵省入省。泉大津税務署長、IMFアドバイザー、在米国大使館公使、財務省国際局長などを歴任後、2011年から2013年まで財務官を務め、30年以上にわたり国際金融や開発分野において幅広い経験を積んできた。

当日は67加盟国・地域からなる国際開発金融機関であるアジア開発銀行における開発途上国支援やその展望などをテーマに講演をする。

※一般参加可、申し込み不要、無料。

■日時:5月27日(水)15時10分～16時40分

■場所:神戸三田キャンパスⅡ号館201号教室

■演題:「アジア経済の展望とアジア開発銀行の役割」

■問い合わせ:神戸三田キャンパス(総合政策学部担当)
(079-565-7601)

「食」を通じて難民問題に理解を！ ～難民学生らが企画、今日から～

関学大の難民学生らが食を通じて難民問題についての理解を深めてもらおうと、在日難民の祖国料理を提供する難民メニューフェア「Meal for Refugees」を実施する。この取り組みは今年で3回目、毎年6月20日にある「世界難民の日」に向けて実施している。

今年は西宮上ヶ原キャンパスの大学生協「BIG PAPA」でミャンマーの「きなこ入りうどん」やパキスタンの「まるやかチキンカレー」など計6品を提供する。ミャンマー難民2世のシャンカイさん(総合政策学部4年生)は「このイベントを通じて難民を身近に感じてもらい、難民問題に関心をもってもらうきっかけになれば嬉しい」と話している。

なお、関学大では2007年より難民推薦入試制度を日本で初めて実施し、毎年難民学生を受け入れている。

※一般の方もぜひお越しください。

■日時:5月11日(月)～15日(金)
6月15日(月)～19日(金)

■場所:西宮上ヶ原キャンパス大学生協食堂「BIG PAPA」
神戸三田キャンパス 大学生協食堂(上記日程の水、木、金曜日のみ)

即時に反応できる初音ミクの ロボットを開発！ 初のアリーナライブも夢じゃない！



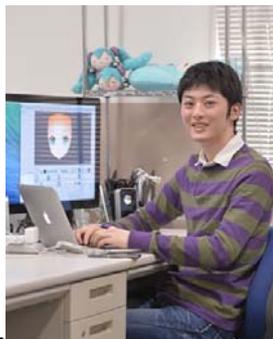
竹本拓真さん(理工学研究科M2年生)が歌声合成ソフトで人気キャラクターの初音ミクをロボットに作り上げ、遠隔操作で即時に声や表情を表現できるソフト「Miku Miku Face」を開発。状況に合わせて反応できる初音ミクを360度から楽しめる新たな可能性を生み出した。

現在、1万人以上を動員するライブで登場する初音ミクは画面上で、動きは事前の設定のみ。アドリブはできない。「実世界でミクが自由に歌って話す姿を見たい。ライブのリアル感や臨場感は激変するはず」と開発を開始した。

こだわったのは動作の即時化だ。声は、理工学部時代に開発した歌声の即時生成ソフト「HANAUTAU」を改良。操作者の鼻歌とタイピングに合わせて、初音ミクが即時に歌いだす。顔は、赤外線カメラでとらえた操作者の表情と同様の表情を映し出すように設定。操作者が笑えば、即時に初音ミクも笑顔を見せる。表情の投映は、小型プロジェクターを魚眼レンズ搭載型に改造し、頭部内に設置することで可能にした。

ほぼ独学ながら、「HANAUTAU」はテレビや雑誌で紹介されるなど、注目を集める。「Miku Miku Face」は3月に開催された、人とコンピューターの相互作用に関する最新技術等を発表する学会「インタラクティブ2015」で展示。娯楽性や新規性が評価され、インタラクティブ発表賞を受賞した。初音ミクファンからは「可愛すぎる」と注目され、動画共有サイトで反響を呼んでいる。

「将来的にはロボットのミクが、何万人もの観客と自由に掛け合いをするアリーナライブを実現したい」。世界中のファンの夢を乗せて、開発に情熱を注ぐ。



竹本 拓真さん



竹本さんが開発した初音ミクのロボット

次号 5月18日(月)発行予定